



散布日	露地作型						散布日	ハウス作型					
	回数	散布時期	散布薬剤	濃度	水 1000 当薬量	発生病害虫		回数	散布時期	散布薬剤と濃度	濃度	水 1000 当薬量	発生病害虫
／	①	4／上 萌芽期	展着剤（ハイテンパワー） オーソサイド水和剤 80 オルトラン水和剤	10,000 倍 600 倍 1,500 倍	10ml 166g 66g	立枯病 アブラムシ類 アオムシ	／	①	2／上 萌芽期	展着剤（ハイテンパワー） オーソサイド水和剤 80 オルトラン水和剤	10,000 倍 600 倍 1,500 倍	10ml 166g 66g	立枯病 アブラムシ類 ヨトウムシ
／	②	4／下 出蕾期	展着剤（ブレイクスルー） ゲッター水和剤	10,000 倍 1,000 倍	10ml 100g	灰色かび病				ガードベイト A	-	-	ネキリムシ類
／	③	5／中 摘蕾後	展着剤（ブレイクスルー） ポリオキシシ AL 水溶剤 スミチオン乳剤	10,000 倍 2,500 倍 1,000 倍	10ml 40g 100ml	灰色かび病 （コウモリガ）	／	②	出蕾期 展葉期	展着剤（ハイテンパワー） ゲッター水和剤	10,000 倍 1,000 倍	10ml 100g	灰色かび病
							／	③	茎葉 繁茂期	展着剤（ブレイクスルー） ダコニール 1000 スミチオン乳剤	10,000 倍 1,000 倍 1,000 倍	10ml 100 ml 100ml	（灰色かび病） アブラムシ類
／	④	5／下 収穫 3 日前	展着剤（ブレイクスルー） フルピカフロアブル アルバリン顆粒水溶剤	10,000 倍 2,000 倍 2,000 倍	10ml 5ml 50g	灰色かび病 アブラムシ類 カメムシ類	／	④	摘蕾後	展着剤（ブレイクスルー） ポリオキシシ AL 水溶剤	10,000 倍 2,500 倍	10ml 40g	灰色かび病
							／	⑤	収穫 3 日前	展着剤（ブレイクスルー） フルピカフロアブル アルバリン顆粒水溶剤	10,000 倍 2,000 倍 2,000 倍	10ml 50ml 50g	灰色かび病 アブラムシ類
／	⑤	6／中 花芽 形成期	展着剤（ハイテンパワー） トップジンM水和剤 オルトラン水和剤	10,000 倍 1,500 倍 1,500 倍	10ml 66g 66g	菌核病 ヨトウムシ 類	／	⑥	5／下 花芽 形成期	展着剤（ハイテンパワー） ダコニール 1000	10,000 倍 1,000 倍	10ml 100 ml	うどんこ病
／	⑥	7／上	展着剤（ハイテンパワー） モレスタン水和剤	10,000 倍 2,000 倍	10ml 50g	うどんこ病	／	⑦	6／中	展着剤（ハイテンパワー） トップジン M 水和剤 オルトラン水和剤	10,000 倍 1,500 倍 1,500 倍	10ml 66g 66g	灰色かび病 アブラムシ類 アオムシ ヨトウムシ類
／	⑦	7／下	展着剤（ハイテンパワー） サンヨール	10,000 倍 500 倍	10ml 200ml	うどんこ病	／	⑧	7／上	展着剤（ハイテンパワー） モレスタン水和剤	10,000 倍 2,000 倍	10ml 50g	うどんこ病
／	⑧	8／下	展着剤（ハイテンパワー） トップジンM水和剤	10,000 倍 1,500 倍	10ml 66g	灰色かび病 （うどんこ病）	／	⑨	7／下	展着剤（ハイテンパワー） サンヨール	10,000 倍 500 倍	10ml 200ml	うどんこ病
／	⑨	9／中	展着剤（ハイテンパワー） モレスタン水和剤	10,000 倍 2,000 倍	10ml 50g	うどんこ病	／	⑩	8／下	展着剤（ハイテンパワー） トップジンM水和剤	10,000 倍 1,500 倍	10ml 66g	灰色かび病 （うどんこ病）

◎灰色かび病は低温、多湿で発生するので、ハウス内換気等総合的に防除する。また間引き作業によって風通しを良くする。

- ◆ 灰色かび病の防除にあたっては、同一薬剤の連用は避ける。
- ◆ 収穫後のトップジンM水和剤は、茎葉と地際部にも散布し立枯病を予防する。
25℃以上の高温により多発するため地温が上がる前の 5 月中旬頃にトップジン M 水和剤 または **ユニフォーム粒剤**を株元散布すると立枯予防となる。
- ◆ うどんこ病多発園は枯れこみが早いため収穫後も防除を必ず行う。11 月まで葉色を維持し光合成により十分な養分蓄積を目指す。
- ◆ 薬剤による汚れが気になる場合は、ゲッター水和剤に代えてアフェットフロアブルを散布してもよい。
- ◆ 10a 当たり薬剤散布量は、萌芽期 1000、出蕾期 2000を目安とし、以降は 3000とする。

シャクヤク（花き）農薬適正基準

薬剤名	発生病害虫	希釈倍率	使用時期	使用回数(以内)
オルトラン水和剤	アブラムシ類、アオムシ、（ヨトウムシ類）	1,500 倍	生育期	5 回
スミチオン乳剤	アザミウマ類、（アブラムシ類）、アオムシ	1,000 倍	発生初期	6 回
アルバリン顆粒水溶剤	アザミウマ類、アブラムシ類、（カメムシ類）	2,000～3,000 倍	発生初期	5 回
ゲッター水和剤	灰色かび病	1,000 倍	生育期	5 回
トップジンM水和剤	灰色かび病、（うどんこ病）	1,500 倍	生育期	5 回
ポリオキシシ AL 水溶剤	灰色かび病、黒斑病、ハダニ類	2,500 倍	発生初期	8 回
フルピカフロアブル	灰色かび病、（うどんこ病）	2,000～3,000 倍	生育期	5 回
アフェットフロアブル	灰色かび病、（うどんこ病）、（さび病）	2,000 倍	発病初期	3 回
トレノックスフロアブル	灰色かび病、（褐斑病、炭そ病）	500 倍	発病初期	6 回
オーソサイド水和剤 80	立枯病、茎腐病	600 倍	生育期	8 回
モレスタン水和剤	うどんこ病、（ハダニ類）	2,000～3,000 倍	生育期	10 回
パンチョTF顆粒水溶剤 取り寄せ	うどんこ病	2,000 倍	発病前	2 回
トリフミン水和剤	うどんこ病、（黒斑病、炭そ病）	3,000 倍	発病初期	5 回
カリグリーン水溶剤	うどんこ病	800 倍	発病初期	-
サンヨール	うどんこ病、灰色かび病、アブラムシ類、ハダニ類	500 倍	生育期	8 回
ダコニール 1000	うどんこ病、（褐斑病）、（すす斑病）、（灰色かび病）	1,000 倍	発生前（予防）	6 回
モンカットフロアブル 40 取り寄せ	白絹病	1,000～2,000 倍	株元散布	3 回
ユニフォーム粒剤	立枯病リソクトニア菌、（疫病）	18kg／10a	土壌表面散布	3 回
ガードベイト A	ネキリムシ類	3kg／10a	株元散布	6 回

病害虫発生前の早期防除に取り組み、安全・安心な農産物生産しましょう。

＊農薬混和順 水→ 展着剤→ 液剤→ 乳剤→ 水溶剤→ フロアブル剤→ 水和剤

当防除暦の複製・コピーの禁止